

まちづくりの区分	建設計画上の重点取組み事項等			平成19年度に実施（計画・変更）要望する事業			要望の趣旨等
	施策項目	個別事業項目 (進行管理項目に該当)	重点取組み事項	全体等	実施事業	実施事業内容	
連帯	健康づくりの推進	健康相談、健康診査、健康教育	★保健・医療・福祉の連携		国分寺保健センターの増員等	合併に伴う仕事内容等の激変緩和のため、当分の間、国分寺保健センターの増員を実施し、段階的に人員の見直しを要望する。	保健センター職員の人員削減の根拠については、先般、文書による回答をいただきました。 しかし、回答中にある基準を、合併後すぐに、合併地区に適用させるのはいかがでしょうか。仕事の体制も変わり、慣れていない現在、合併前と同じ業務を削減後の職員で同等にこなしていくということは、少し無理があると思います。市の基準を適用するにしても、段階的に実施していただきたい。 また、休職中の職員対応として、維持管理等のため非常勤の事務職員1名の配置をしていただいておりますが、休職期間が長びくようであれば、臨時職員ではなく、正規職員の配置も、今後考えていただきたい。
連携	教育環境の整備	学校施設の整備 (幼稚園、小・中学校の耐震化など)	★幼稚園、小・中学校施設の整備		学校施設の耐震化	国分寺南部・北部小学校屋内運動場および国分寺中学校校舎については、耐震診断の実施後、耐震化事業を行うこととなっているが、旧町時代の診断結果や耐震化後の学校施設の機能を考えると、耐震化ではなくて改築(建替え)を要望する。	●国分寺中学校中棟 国分寺町時代の平成16年度に校舎の耐力度調査を実施した。その結果、構造上危険な状態にある建物との診断結果を受けた。そこで、実施設計料を予算計上し、改築に取りかかることにしていたが、合併に伴い、合併特例債の適用を受けるためには、実施設計を合併年度以後にとの高松市の意向も踏まえ見送った。合併となった今、19年度に実施設計、20年度に改築の計画を実施していただきたい。 ●国分寺南部・北部小学校屋内運動場 両屋内運動場は、生徒数に比べ著しく狭い状況です。また、老朽化もしています。そして、災害時の避難所にも指定されておりますが、今後、耐震化をしても、大きさが変わらない限り、学校施設として、また、避難所としての機能をはたすことは難しいと思われまます。 ※特に、南部小学校屋内運動場においては、生徒数が941名であるにもかかわらず、屋内運動場の広さは、生徒数172名の三溪小学校より狭い状況です。
連携	自然災害対策の推進	災害危険箇所の点検強化と改修等			公民館の耐震化	平成18年度に実施する国分寺北部公民館・国分寺南部公民館の耐震診断の結果に基づき、耐震化対策が必要な場合は、平成19年度より補強工事にとりかかることを要望する。	地域の拠点施設であり、災害時の避難所にも指定されている地区公民館については、早期の施設整備が必要である。

☆の事業は、市全体事業等として実施要望する事業である。

まちづくりの区分	建設計画上の重点取組み事項等			平成19年度に実施（計画・変更）要望する事業		要望の趣旨等
	施策項目	個別事業項目 (進行管理項目に該当)	重点取組み事項		実施事業 実施事業内容	
連携	地域情報化の推進	情報通信機能や基盤の整備 (新世代地域ケーブルテレビのエリア拡大の促進など)	★新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業	☆	CATVの整備 合併5町が、それぞれCATVの整備を希望している中で、合併町に対する19年度以降のエリア拡大のための具体的年次計画と、そのための条件整備としてどのようなものが考えられるかを示した上で、国分寺地域の早期着工を要望する。	CATVの施設整備は、予算規模が大きく、また、行政ではなく民間のケーブルメディア四国に負うところが大きいこと、エリア拡大のための年次計画を早急に立て、合併各町のバランスにも配慮する中で、早期の対応を図る。
連携	生涯学習・生涯スポーツの充実	生涯学習センター（仮称）の整備	★文化施設の整備		国分寺町文化施設（生涯学習センター）整備の検討 国分寺町文化施設（生涯学習センター）整備の検討 早急に検討組織を立ち上げ、文化施設建設に向けての調査を実施する。また、調査結果(進捗状況)は、速やかに公表すること。	●建設予定地の確保、進入路の整備は既に完了している。なお、町時代に積立していた建設基金も合併に伴い高松市に引き継ぐ等、合併前にほとんどの準備は完了していた。また、文化施設の建設は、国分寺地区住民の長年の夢である点を考慮し、早期の施設整備を望む。 ●検討組織の構成は、行政のみとせず、地域の学識経験者や文化施設の利用者等幅広い意見を聞くことができる組織とすること。
連携	生涯学習・生涯スポーツの充実	既存施設を活用したスポーツ・レクリエーション活動の充実			社会体育施設の優先使用の延長 社会体育施設を体育協会およびスポーツ少年団が練習・行事等で使用する場合、現在の優先使用を、平成20年度まで延長して実施することを要望する。	合併協議において、社会体育施設を体育協会及びスポーツ少年団が練習・行事等で使用する場合、使用料については、「合併年度及びこれに続く3年度に限り、現行のとおりとする。」とした。しかし、使用方法については、明確に規定されていない。使用料は、施設を使用して初めて発生するものであり、また、この件に関しては、合併後に関係団体への早期の周知はなかったと聞いております。実際は、18年の3月頃に、「18年度の使用については、従来どおりの使用方法になりました。」との方針が決まったと聞いております。 使用方法については、使用料と同様の期間、すなわち平成20年度まで、現行どおりの優先使用にしていきたいと思えます。いずれにしても、今後の方針を、速く、的確に、関係団体に周知していただきたい。そうしないと、現場が混乱することになる。
連携	生涯学習・生涯スポーツの充実	不審者侵入対策など安全対策の推進	★園児・児童の安全対策事業	☆	学校教育環境の整備 6月から少年育成委員が、各小学校区ごとに7名委嘱されていますが、生徒数や社会情勢を考えると、少年育成委員の増員を要望する。	6月から少年育成委員の数が各小学校区で、30名から7名に減りました。昨今、下校中の児童に、声をかけるなどの不審者情報を新聞報道などでよく目にします。物騒な世の中になっている現在、少年育成委員を減らす理由はないと思えます。少年育成委員が減った穴埋めとして、地域の婦人会員等がボランティアで安全パトロールの腕章をつけて、子供達の安全を見守っているのが現状です。 国分寺地区の小学校・中学校は、高松市の中でもマンモス校となっており、子供達が安全で安心して登下校できるような体制にしてほしい。

★の事業は、市全体事業等として実施要望する事業である。

まちづくりの区分	建設計画上の重点取り組み事項等			平成19年度に実施（計画・変更）要望する事業		要望の趣旨等	
	施策項目	個別事業項目 (進行管理項目に該当)	重点取り組み事項	実施事業	実施事業内容		
交流	公共交通の整備				<p>現行路線バスの運行経路の延伸</p> <p>ことでんバス御厩・県立総合プール線のJR端岡駅への延伸を要望する。</p>	<p>ことでんバス御厩・県立総合プール線の終着バス停留所を、JR端岡駅まで延ばし、循環バスとの接続を行うことにより、利用者の利便性をはかる。</p>	
		J R マリンライナーの端岡駅停車に向けた関係機関への働きかけ			<p>J R マリンライナーの端岡駅停車の増加</p> <p>J R マリンライナーの端岡駅停車の増加を要望する。</p>	<p>利用者の利便性向上や高松市の西の玄関口としての地域発展のため、J R マリンライナーの停車の増加をはかる。</p>	
交流	都市基盤の整備	端岡駅の利便性向上を図るための周辺整備 (駅南口の設置、アクセス道路、駅前広場の整備など)	★ J R 端岡駅周辺地区まちづくり事業		J R 端岡駅周辺整備事業	<p>高松市の西の玄関口として、端岡駅周辺整備を行うため、平成19年度予算に、都市計画マスタープラン策定のための適切な額の調査費を計上し、早期整備を要望する。</p>	<p>端岡駅周辺の早期整備を図る上で、重要な資料となる都市計画マスタープランを実現可能な計画とするため、端岡駅関係の調査費を計上し、駅周辺整備の具体化を推進する。</p>
		自然環境と調和・共生した秩序ある市街地の計画的な形成と効率的な都市基盤整備の推進	★都市計画マスタープラン策定事業	☆	都市計画マスタープランの見直し	<p>都市計画マスタープランの見直しは、合併町民の関心・要望が大きいことから、見直し策定委員会の構成メンバー・人員・年間計画・進捗状況を順次公開するとともに、町民の意見も聞く中で進めることを要望する。</p>	<p>見直し作業の中で町民の意見を聞き、各種情報を公開し、都市計画マスタープランの修正を行うことが、合併地区の長期計画策定には重要と考える。</p>

★の事業は、市全体事業等として実施要望する事業である。